

「安心・活力・発展プラン2005」 発展部会 委員発言に対する対応状況

No.	項目	発言要旨	施策・取り組みコード	所管部局
1	教育	大分県の教育予算は九州内でも低い方と思う。学力だけでなく子どもの情操教育を支えていけるような施策立案、予算配分をお願いしたい。	発展-1-①、②	教育
2		子どもたちがアートに触れることでコミュニケーション能力や表現力等が身につく、学力向上など他分野にも良い影響を与える可能性がある。	発展-1-②	教育
3		「3つ子の魂百まで」と言うように、幼児期の教育が最も重要。まず幼稚園の3年間をしっかりと育てて小学校へ送り出さないとその先に繋がっていかない。子どもを育てるためには家庭を育てることが重要。	発展-1-④ (安心-1-①)	教育 (福祉)
4		「地縁、支援、応援」という3つの「えん」という言葉がある。地域で人材を作っていくだけでなく、行政が金銭的、制度的な支援を行い、加えて外部からの応援が必要になってくる。これら3つの「えん」を繋いでローカルで活躍できる人材を育て、グローバルな世界に送り出していくことが必要。	発展-2-①、②、③(教育) 発展-7-②(教育) (活力-16-①(企画))	教育 (企画)
5		先生がいじめや子どもの不満について公平にものを見て解決につなげることができていないケースが多いように感じる。	発展-3-① 発展-4-③	教育
6		「おんせん県おおいた」は親しみがあり県外にもアピールできているので、「創造県おおいた」「教育県おおいた」についても、名称はキャッチーだが実施内容は真剣に取り組んでいるような工夫をして欲しい。	-	教育
7		教育者・保育者が育ち親や子供と信頼関係ができるようにならないといい教育・保育はできないが、体力的にきつい等の理由ですぐに辞めてしまうのが現状である。	(安心-1-①)	(福祉)
8	人材育成・雇用	子どもの就職率は上がっているが定着率はどうか。例えば県の公共工事等の入札のうち何%かを企業の人材育成費用に充てるような要件を講じるなど、あらゆる事業において「人材育成」という費目を計上してもよいのではないか。	発展-1-⑤(教育)	教育
9		大学生の就職について、企業は効率化が最優先で人材を育成する時間が無い一方で大学側は実学に乏しいため、その部分を行政が間を取り持つことが必要ではないか。	発展-5-②(企画) (活力-11-①(商労))	企画 (商労)
10		地元企業も即戦力ばかりを求めるのではなく、新卒を採用し、根気強く人を育てるという意識を企業に植え付けることが重要。	(活力-11-①(商労))	(商労)
11		在宅就業等により、企業を下支えする仕事を女性や高齢者が担うことができるような仕組みづくりができないか。(電子化、ペーパーレス化など)	(活力-11-①(商労))	(商労)
12		若者版のリーダーカレッジを作ってみてはどうか。立場の違う様々な若者が集まり、地域の未来を考えていく人材を育てていくことが大事だと思う。	(活力-13-②) (活力-16-①、③)	(企画)
13	青少年の健全育成	学校で不登校となった生徒がそのまま卒業した場合に、そのまま関係が切れてしまうのではなく地域のサポートセンターに繋いでいくなど、不登校生徒がそのままひきこもりやニートにならないよう継続的な支援が必要。	発展-3-①(教育) 発展-6-②(生還) (安心-21-③(福祉))	教育 生還 (福祉)
14		学校や行政、家庭だけに頼ることなく地域全体で若者たちのやり直しがきくような地域、社会づくりが必要。	発展-6-②	生環
15		大分のひきこもりとニートの数がそれぞれ5千人いるということをニュースで見ましたが、生産年齢人口が20万人減少する中でこの1万人という数は大切だと思う。このような若者達にもう1歩踏み込んで地域に出てきていただくような施策が必要。	発展-6-②	生環
16		子ども達が外遊びできるような場所がなくなってきているので、子ども達が自由に遊べる環境づくりをお願いしたい。	(安心-10-④(土木))	(土木)

「安心・活力・発展プラン2005」 発展部会 委員発言に対する対応状況

No.	項目	発言要旨	施策・取り組みコード	所管部局
17	芸術文化	美術館や図書館の無償での開放や招待などによりできるだけ垣根を取り払い、美術館や図書館が近くにない子ども達等にも参加しやすいような仕組みづくりをお願いしたい。	発展-7-①(教育) 発展-8-②(企画)	教育 企画
18		県内の小学生6万人を美術館に招待する予定だが、美術館だけでなく(音響設計という工学的な要素も含む)劇場の方も併せてPRしてほしい。	発展-8-②	企画
19		「おんせん県おおいた」は親しみがあり県外にもアピールできているので、「創造県おおいた」「教育県おおいた」についても、名称はキャッチーだが実施内容は真剣に取り組んでいるような工夫をして欲しい。	発展-9-①、②、③、④	企画
20		クリエイティブシティ化は全ての政策に横串を刺すイメージ。クリエイティブ大分という視点を長計の柱に据えていければと考えている。	発展-9-①、②、③、④	企画
21		県立美術館で地方の工芸作家やアーティストの作品が展示、販売されると思うが、それを契機に国東等の地方のギャラリー等にも人が流れていくような動線ができればいいと思う。	発展-9-②	企画
22		芸術文化については、国東半島の神仏習合や中津・竹田の城下町等大分にある潜在的な力をもっと掘り起こし、その力を発揮させていくことが必要。	発展-9-②	企画
23		高齢者にとってアートは生きがいにつながると思うが作品を展示・発表できる場が少ないので、芸術文化ゾーンにおいて高齢者の作品を発表できる機会をつくって欲しい。	発展-9-③	企画
24	NPO	NPOはボランティアの位置付けと思われるが、協働という立場をよく理解してほしい。政策企画という目に見えにくい部分にも予算化していただけるような配慮してほしい。	発展-15-①	生環
25		県民サービスの向上等につながる提案をしたNPOに対しては、その提案が実現できるような管理、運営等の部分も含めて支援してほしい。	発展-15-①	生環
26	交通	大分空港の有効活用として、空港間の連携、広域的な人の移動というも議論の対象になると思う。その他、南海トラフ地震を見据えたバックアップルートの確保ということも視野に入れておかないといけない。	発展-16-①(土木) 発展-17-②(企画) (安心-24-①(生環))	土木 企画 (生環)
27		大分に来た観光客が県内各地を周遊するためには、郊外も含めて時系列的に道路整備をする必要がある。	発展-16-①、② 発展-18-①、② (活力-14-⑥)	土木
28		国東半島を訪れた方が気持ちよくスムーズに廻れるよう、国東の山々を巡る道路の整備をしっかりとって欲しい。	発展-18-① (活力-14-⑥)	土木
29	IT化	情報技術の発展に伴うリスク、セキュリティ、情報モラル教育が重要。情報技術に依存するのではなく、自分の能力をどう拡張させるのかといった視点での教育やモラルの啓蒙がポイントになる。	発展-1-①、②(教育) 発展-3-①(教育) (活力-10-③(商労))	教育 (商労)
30		大分が観光分野でアピールしていく上で、特に公共施設や観光施設におけるWi-Fi環境整備による利便性の向上が重要。	(活力-10-①) (活力-13-②)	(商労) (企画)
31		大分県は情報インフラの整備は進んでいるが、これからは利活用等ソフト面での対応が重要になってくると思う。ブロードバンド普及率もかなり進んできているが、ICTの技術を役立たせるためには、物理的に厳しい地域に普及させることが一番のポイントと思う。	(活力-10-①)	(商労)

「安心・活力・発展プラン2005」 発展部会 委員発言に対する対応状況

No.	項目	発言要旨	施策・取り組みコード	所管部局
32	子育て	働く時間が長くなり、くたくたになって家に帰ってきているので、子育て家庭において家庭が成り立っておらず、子育てに喜びを実感できていないと思う。	(安心-1-②(福祉)) (活力-11-③(商労))	(福祉) (商労)
33	災害対策	火山や大気の監視体制や危機管理体制の状況等、大分県がいかに安全、安心であるかを対外的にもっと情報発信していくべき。	(安心-24-②)	(生環)
34	農林水産業	農林水産業を伸ばしていくためには、優秀な若手農業従事者等への教育(語学も含む)や首都圏・海外市場に出て行けるような場づくり・サポート体制が必要。	(活力-1-①、③)	(農林)
35		中間流通コスト削減の傾向があるなか、大分県の地域密着型の農林水産業が今後大きな財産となっていくのではないかと。	(活力-2-①) (活力-4-①)	(農林)
36		男女共同参画が進んでいる農林水産分野について、女性が従事することに喜びを感じ、従事しやすくなるような取組を検討して欲しい。	(活力-3-①)	(農林)
37	農林水産業 商工業	商品(もの)は技術だけでは売れなくなっている。商品を作り、売り切るまでの教育を徹底させることが重要。商品のブランド化だけではなく、商品が消費者の元へ着地するまでの戦略を明確にしなければならない。	(活力-2-①、②(農林)) (活力-7-④、活力-9-②(商労))	(農林) (商労)
38		ものづくりの分野では、デザイン性を取り入れ付加価値を与えることにより、コスト競争から脱却できるのではないかと。	(活力-7-④)	(商労)
39	地域づくり	地域を活性化するうえでは、地元住民も大事だが、外から人を呼び込み、交流を続けていけるかどうか重要な課題だと思う。	(活力-13-②(企画))	(企画)
40	ツーリズム	東九州自動車道の開通を見据え、例えば観光についてはどう周遊ルートを確認していくかなどが重要。	(活力-13-②)	(企画)
41		東九州自動車道の開通効果を一過性の観光客増加に終わらせることのないよう、持続可能で魅力的な地域づくりに取り組む必要がある。	(活力-13-②)	(企画)
42		訪れてみて良い場所であれば住みたくなることに繋がっていくため、訪れたい場所の1つになるような情報発信をしていただきたい。	(活力-13-②) (活力-17-①)	(企画)
43	人口減少	大分県はこれまで企業誘致を進めてきたが、あくまでも地域に働く若者がいることが前提であると思う。これからは企業誘致だけでなくその前提として人材誘致も必要。	(活力-18-②)	(企画)
44		人口減少社会を見据え、地域に若者をいかにして呼び込むかが重要。	(安心-22-③、活力-18-②)	(企画)
45		人口減少の問題は全県的にしっかりと向き合っていくべき課題である。	(安心-22-③、活力-18-②)	(企画)